

公開セミナーのお知らせ

自閉症スペクトラム障害への 早期発達支援の最先端

Front Line of Early Intervention for Children with Autism Spectrum Disorder

講師：ローラ・シュライブマン博士

(カリフォルニア大学サンディエゴ校)

Laura Schreibman, Ph.D.

(University of California San Diego)



日時：2010年8月21日(土)10時30分～12時30分

場所：慶應義塾大学三田キャンパス 南館地下2階 2B21 教室

入場無料、事前登録不要

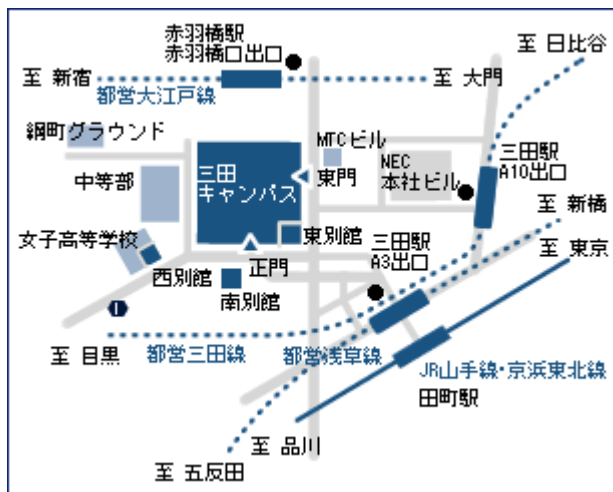
応用行動分析にもとづいた「基軸行動指導法 (Pivotal Response Teaching : PRT)」の開発者として著名な、シュライブマン (Laura Schreibman) 博士をお招きした公開セミナーを行います。PRTは、日常的な環境の中で子どもの動機づけを高めながら、発達支援を進めていく方法で、コミュニケーションや対人相互作用などの発達促進がなされることが実証されています。PRTの具体的な適用方法や園や学校などでの実施方法と、これまでの研究成果をわかりやすくお話しいただきます。また、どのような自閉症児に、どのような支援が効果的か、についての実証研究についての最新の成果もお話しいただきます。UC San Diegoは、米国のAutism Center of Excellence (ACE:自閉症研究拠点大学)として認定されており、遺伝、脳機能、アセスメント、介入研究を包括的に進めています。シュライブマン博士は、その中の介入研究コア (Treatment Core) の統括研究者 (Director) として、数々の実績をおあげになっています。その最新の研究成果もお話しいただきます。

相互交流のできるリラックスした楽しい会にしたいと思いますので、ぜひご参加いただければ幸いです。特に、学部生、大学院生、研究者、臨床家のご参加を歓迎いたします。英語でのお話しですが、適宜、要約を、通訳いたします。

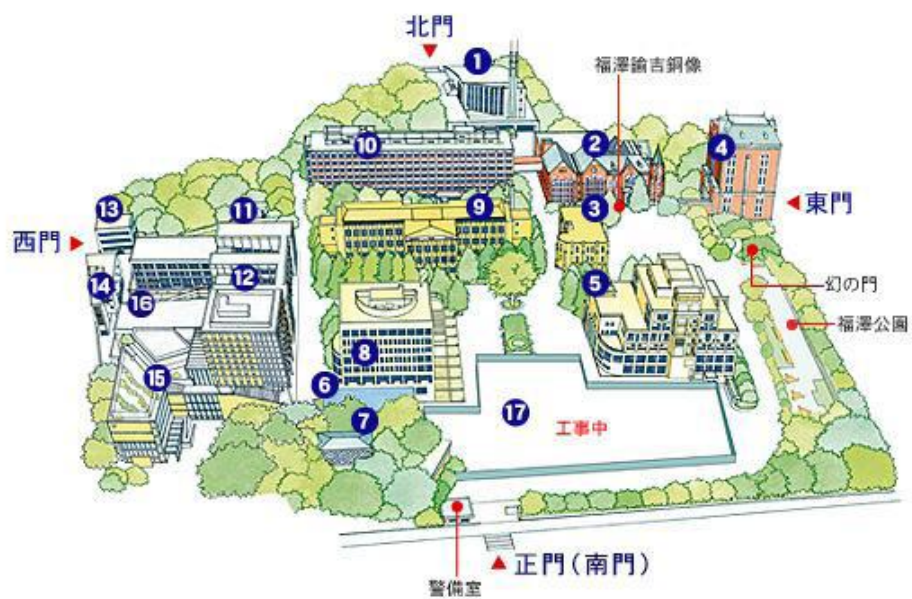
また、午後13時30分からは、シュライブマン博士を指定討論者にした、日本の若手研究者・実践家の研究発表 (「1歳6カ月からの超早期療育」「共同注意」「模倣」「臨床支援のパフォーマンスマネジメント」など) とフランクな討議を行う予定です。こちらへも、ぜひご参加ください。

問い合わせ：慶應義塾大学・文学部 山本淳一 yamamotoj@flet.keio.ac.jp TEL:03-5427-1438
是村由佳 yuka.koremura@gmail.com

本公開セミナーは、文部科学省科学研究費補助金基盤研究 (B) 「自閉性障害幼児の家庭訪問型発達支援モデルの構築と評価」の補助を得て実施します。



慶應義塾大学 三田キャンパス 15番の建物（南館）の地下2階です



<http://www.keio.ac.jp/ja/access/mita.html>